

NO. 2367 大普賢岳

2013年6月2日(日)曇

参加者：岡本(L、記)

<行程・時間>

9:50 和佐又ヒュッテ駐車場→10:30 朝日窟→10:40 日本岳コル→
11:25 大普賢山頂→12:05 朝日窟(昼食30分)→13:15 駐車場

またも参加者ゼロとなり、単独で大普賢を目指す。

新緑の中、のんびりとドライブを楽しむ。いつもよりゆっくり走ったため、和佐又ヒュッテ到着は9時半を過ぎていた。火曜日から北関東方面への山行予定もあり、今日は大普賢岳へのピストンのみと決めた。駐車料金500円を持ちヒュッテへ行くと、1000円と言われた。昨年までは、5時間以内なら500円だったのが、今年から値上げとなったようだ。これもアベノミクス効果の波及か。

気温は15度程度、天気も曇と、歩くのには暑くも寒くも無い快適な天候だ。歩き出すと美しいブナの新緑と、森特有の香りが全身を包み、気分が爽快になる。駐車してある車は多かったが、登山客は意外に少ない。最初の緩やかな広葉樹の森を過ぎると、指弾の窟、朝日窟、笹の窟、鷲の窟といわやが続く。そこを過ぎると急なガレ場を登り、登り詰めたところが日本岳のコルだ。そこからは岩場が続く、鉄ハシゴの連続となるが、所々に見える山ツツジとシャクナゲの花が緊張を和らげてくれる。

暫く行くと小普賢岳との分岐にでる。ここから大普賢の尾根からの絶壁がよく見える。少し下りコルを過ぎると再び鉄ハシゴの連続となる。200m足らずの登りではあるが、結構苦しく感じる。鉄ハシゴを過ぎると徐々に緩やかな登りとなり、やがて大峰奥駈道に出る。ここから頂上まで緩やかな登りが100mほど続く。

頂上に近づくと何やらガヤガヤ五月蠅い。今までの爽やかな気分が吹き飛んでしまう。団体客や何やらで、腰を掛ける場所もない。頂上の標識もその周りに人が座り込み、写真も撮れない。このような輩が増えると、折角の登山も台無しだ。早々に下山する。幸い、下山途中も殆ど人に会うことが無く、静かな山歩きが愉しめた。頂上で昼食の予定であったが、朝日窟まで戻り、そこでゆっくりとカップ麺を食べる。今日の目的の一つが、賞味期限切れの山食の処理だ。目的を果たして、少し満足した気分です、また、新緑のブナ林の中をゆっくり下山する。

以上

このコースはそれほど花は多くありませんが、まだ、所々に咲いていました。

